

## 平成 28 年度 事業報告

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

### ■DMメディアと日本ダイレクトメール協会の価値向上と魅力作りを推進

「DMメディア実態調査」によるFACT情報と、「全日本DM大賞」の受賞事例を両輪としたDMメディアに関する情報発信は、メディア記事等も含めて会員社の営業ツールへの利用等、活用の成果が見られるようになってきており、「デジタル時代のDMの役割」を明確に打ち出すことができるようになった。

### ■体系的なDM実務人材育成システムの充実とエリアネットワーク拡大

「DMアドバイザー」「DMマーケティングエキスパート」「DMマーケティングプロフェッショナル」の3つの認証研修が大口の単独開催も含めて本格化し、成功事例セミナー、データビジネスセミナー、派遣講座を通じてDMマーケティングの実務ノウハウ提供を質、量ともに充実させることができた。

これに伴い過去の「DMアドバイザー」「DMマーケティングエキスパート」認証取得者の情報整備をさらに推進し、協会との交流、ビジネスマッチングサポート等の強化に着手、地方エリア対応としての「DM成功事例セミナー」の大阪、福岡開催を実施した。

さらに認証試験の地方での単独開催準備と、これに必要な新たな「DMマーケティングエキスパート認証テキスト(仮称)」の編纂をスタートさせた。

一方、派遣型DM講座も順調な伸びを見せ、企業内研修や講演会コンテンツとしてレギュラー化が進展、定例の研修会ではカバーできない東京以外のエリア対応などで補完的な役割を果たすことができた。

総体として研修事業を中心に順調な拡大を見せ、収益面でも昨年を上回る成果を達成することができた。

### ■最新の個人情報マーケティングへの積極的な対応

パーソナルデータの利活用、マーケティングオートメーション、AIの活用、デジタルとDMの連携等、DMを取り巻く環境が変化しつつある中、「データベースマーケティング委員会」を中心に勉強会、セミナー、レポート発表等を実施、最新のテクノロジーとDMメディアとのかかわりについて知見を深めるとともに情報発信を行った。

10 月にはダイレクトマーケティング委員会にて米国DMA大会への視察団を派遣し、最新のダイレクトマーケティングの情報収集に資することができた。

### ■会勢拡大を重点目標に据え、健全な財政体質の確立を目指す

平成 28 年度は 756 万円の黒字となり、前年に続いて 4 年連続黒字を達成、繰越金は 2,922 万円を確保することができた。今期は退会が入会を上回っている状況だが、今後新規加入を確保し会勢拡大路線に乗せていくことが来期最大の課題と言える。

また、多岐にわたる事業を運営していく中、事務局スタッフ 3 名体制のキャパシティを越える部分も見られるようになったのも今期の問題点であった。来期については 4 名体制となる予定で、安定した事務局運営を維持しながら事業拡大、会勢拡大を推進していくことが来期の課題と言えよう。

## **総務・財務委員会**

1. 一般社団法人として財務の健全化(会勢拡大など)に努めた。

(1)入会数 13 社目標とし、退会数 14 社見込んでいたが、入会 5 社、退会は 12 社 2 名の結果となった。会員数は前年度対比正会員 7 社減、準会員 2 名減により、平成 28 年度は正会員 86 社準会員 3 名。

(2)会勢拡大活動

- ・協会主催セミナー受講者、書籍購入者、関係団体主催セミナー受講者へ協会パンフレットを配布。
- ・当協会発行書籍の購入者等へ個別アプローチ。

上記等の活動を行い、セミナー受講や書籍購入、協会ホームページからの入会は0社、その他の5社は役員社からの紹介による入会となった。

(3)予算時、収支差額 6.5 万円のところ、決算時 756.6 万円と、約 750 万円の上方修正。新入会員数は予算時の目標に未達で、期初の退会が想定 of 10 社、対予算 157 万円収入減。事業収入では新たに立ち上げた業務受託で対予算約 180 万円、新規DM成功事例セミナー(福岡)で対予算約 130 万円、DM成功事例セミナー(大阪)で対予算約 110 万円、DMメディア実態調査で対予算約 280 万円の収入増。支出では新テキスト開発費用対予算約 210 万円支出増、業務委託で対予算約 167 万円支出増などがある。

2. 賀詞交歓会、総会・懇親会などの運営を担い、会員の情報交換・親睦の場を提供した。

(1)第 4 回(通算 41 回)定時総会の開催

第 4 回(通算 41 回)定時総会を 6 月 16 日(木)、メルパルク東京にて開催。平成 27 年度事業報告・収支決算、及びに役員の改選について、そして平成 28 年度事業計画・収支予算及び平成 27 年度公益目的支出計画実施報告書の提出の報告を行った。

また、定時総会後に下記の講演会と懇親会を開催。約 79 名が参加した。

テーマ 「ビジネス変革をもたらすマーケティングオートメーション」

講師 福田 康隆 氏 (株)マルケト 代表)

※所属、役職等はいずれも開催当時のもの。

(2)賀詞交歓会の開催

平成 29 年中の新入会員の歓迎を兼ね、平成 29 年 1 月 12 日(木)、メルパルク東京にて賀詞交歓会を開催。約 110 名が出席、盛況裡に終了した。

3. 倫理綱領および個人情報保護ガイドラインの運営主体となり協会の社会的信頼維持と法令遵守に努めた。

消費者、非会員社からの問合せ対応等を通じ、DM及びDM協会の社会的信頼維持と法令遵守に努めた。

4. 会員限定のメール情報提供の配信。

26 年度より開始している会員限定のメール情報配信を今年度は 1 件行った。内容については以下の通り。

- ・11 月 14 日(月)新年賀詞交歓会のお知らせ

5. 会員メリットの 1 つとして、協会主催の会員交流会や、非会員も受講の協会主催のセミナーにて協会会員社の「DMやダイレクトマーケティングに関する商品・サービス」に関するリーフレットや、各社のノベルティの配布について、DM制作教室と新年賀詞交歓会の案内の際に配布を募集。新年賀詞交歓会の際に既存会員 1 社が申込、当日会場

内にて閲覧用見本を設置。

## 6. 関連団体や会員社からの協賛・後援・協力依頼について

《承認》(承認順)

- ・名称／第31回全日本DM大賞 主催／日本郵便(株) 内容／協賛  
開催期間／DM作品募集は平成29年3月31日迄、入賞作品展示会は平成29年3月頃
- ・名称／page2017 主催／公益社団法人 日本印刷技術協会 内容／協賛  
開催期間／平成29年2月8日～2月10日 開催場所／サンシャインコンベンションセンター
- ・名称／CCAJコンタクトセンター・セミナー2017 主催／(一社)日本コールセンター協会 内容／後援  
開催期間／平成29年2月16日～17日 開催場所／アーバンネット神田カンファレンス
- ・名称／DM week2017 TOPPAN FORMS 「0秒コミュニケーション」 主催／トッパン・フォームズ(株)  
内容／協賛 開催期間／平成29年3月6日～10日 開催場所／トッパン・フォームズビル
- ・名称／プロモーション・クリエイティブディレクター養成講座  
主催／(一社)日本プロモーション・マーケティング協会 内容／協賛 開催期間／平成29年2月15日  
開催場所／日本印刷会館
- ・名称／DM 発送 主催／トッパン・フォームズ(株) 内容／名義貸し  
開催期間／平成28年12月～平成29年2月
- ・名称／DM week2017 TOPPAN FORMS スペシャルセミナー 主催／トッパン・フォームズ(株) 内容／協賛  
開催期間／平成29年3月6日～10日 開催場所／トッパン・フォームズビル
- ・名称／アドタイ・デイズ2017 主催／(株)宣伝会議 内容／協賛 開催期間／平成29年4月26日～27日  
開催場所／東京国際フォーラム
- ・名称／コマースサミット 主催／コムエキスポジアム・ジャパン(株) 内容／協賛・後援  
開催期間／平成29年5月30日～6月1日 開催場所／ヒルトン小田原リゾート&スパ

## 7. 公益目的支出計画実施報告書の提出について

一般社団法人への移行に伴い、社団法人時代に形成した財産については行政庁となる内閣府より公益目的財産額とみなされ、公益事業を行うことで公益目的財産を取り崩すこととなっている。当協会においても平成24年度に一般社団法人への申請の際に、公益目的事業としてDMホットラインを提出し、移行認可された。そのため、DMホットライン事業を実施し、公益目的財産額に達するまでは公益目的支出計画として、その実施報告を内閣府へ提出する。当協会は一般社団法人へ移行した平成25年度から平成28年度までの4年間、公益目的支出計画を行う。今年度の報告は6月23日に提出、受理された。現在のところ計画通りに公益目的財産の取崩を行っている。

## 8. 協会職員の復職について

今春より育児休業を取っていた事業系協会職員については、4月11日より復職。

## **広報委員会**

### 1. 協会報「DM NEWS」の発行

協会報「DM NEWS」を年10回発行(7・8月及び12・1月はそれぞれ合併号として発行)。いずれもウェブ上に掲

載した。

## 2. 協会ホームページの活用

- ・協会オリジナルの書籍等商品を販売する「オンラインショップ」を12月に新たにホームページ上に開設。新コンテンツとして「DM FACT BOOK2016」、「DMメディア実態調査(完全版)」の2点を追加し、会員非会員を問わず利用しやすい体制を整えた。
- ・セミナー一覧画面を追加した他、申込フォーム入口を整備し、見やすい環境を整えた。
- ・業界トピックスに投稿された記事をメルマガで配信。また、DM資料館の紹介や会員専用ページ内コンテンツを協会会報に掲載し、協会ホームページの活用を促進。
- ・トップ画面に「日本DM協会からのお知らせ」を39件、「業界トピックス」を12件掲載した。

## 3. メルマガの発行と、メルマガ会員拡大策

- ・メルマガを毎月1~2本、計21本を配信。協会報「DM NEWS」のホームページ更新告知の他、協会主催のイベントやセミナーの告知、外部研究機関の公表データ等の情報提供を行った。
- ・昨年に続き、告知チャンネルの強化として、メルマガ登録者数を増加させるべく全日本DM大賞ガイドブック(2016)のPDFを特典にした会員登録促進キャンペーンを、9月2日~11月30日まで実施。期間中キャンペーン利用者は378名、そのうち87名の新規登録を獲得。
- ・各セミナー、賀詞交歓会開催時の名刺獲得により234件の新規登録を獲得。
- ・3月31日現在のメルマガ登録数は3,301件となった。

## 4. DM REPORT、DM ANNUAL2016 の発行

(1)DM及びDM関連業界の1年間の動向をDM REPORTとして協会ホームページにて発表。

4月 2016年全日本DM大賞 受賞作品から見る効果的なDM戦略	明石智子
5月 「DMメディア実態調査 2015 報告」	椎名昌彦
7月 DM広告の現状と今後の課題 ～広告費統計資料、予測データ、広告動態調査からの一考察～	井上東二郎
11月 米国DMA「&THEN」年次大会参加報告	花井優樹
2月 デジタルシフト時代を切り拓く「デジタル×アナログ」のあり方とは	鈴木睦夫

最新のDM REPORTを、協会ホームページやメルマガで広く一般へも公開した(バックナンバーの閲覧は従来同様、会員限定)。

(2) 上記5本のDM REPORTは、3月21日に「DM ANNUAL2016」として会員専用ページにPDF形式のファイルをアップした。

## 5. 協会ロゴマーク使用に関する確認、承認

平成28年度は26件の使用申請があり、いずれも規程に準じた内容であったことから承認した。

## 6. バナー広告

平成28年度は3件の広告を掲載。

## **ダイレクトマーケティング委員会**

### 1. 第6回DM成功事例セミナー(2016)の開催

全日本DM大賞受賞作品の中から上位入賞の制作者によって事例解説をしてもらうという内容で、引き続き今年度もDM成功事例セミナーを開催した。

**【実施】**5月27日(金)／7コマ8事例、日本印刷会館(中央区・新富)にて開催。

**【結果】**目標の65名予定に対して、81名(一般19名、会員62名)の申込となった。

### 2. 第12回DMマーケティングエキスパート研修会の開催

ダイレクトメール・マーケティングに理解の深い人材を育成、DMの普及を促進するべく、企画・営業系のカリキュラムを中心とした第12回DMマーケティングエキスパート研修会を開催した。

**【実施】**6月23日、24日(木、金)／日本印刷会館(中央区・新富)

**【結果】**目標の新規41名・更新117名予定に対して、新規77名・更新者112名(DMMP移行者含む)の計189名(一般48名、会員141名)をDMマーケティングエキスパートとして認証した。

### 3. 第12回DMマーケティングエキスパート研修会 **【単独開催】** (依頼対応事業)

会員社で15名以上の受講と会場費負担の確約が取れた場合に限り、単独開催を受けることにしているが、今回、日本郵便(株)より依頼があり、単独開催を行った。

**【実施】**7月14日、15日(木、金)／中央郵政研修所(国立市)

**【結果】**新規104名の受講、資格更新者22名と合わせ計126名をDMマーケティングエキスパートとして認証した。

### 4. 第2回DMマーケティングプロフェッショナル研修会の開催

「制作も営業提案も一定のスキルを有する、DMのコンサルティングができる人材」の育成・認証を目的に、協会第3の上位認証資格として、『DMマーケティングプロフェッショナル』を開講した。

**【実施】**7月21日、22日(木、金)／日本印刷会館(中央区・新富)

**【結果】**目標の新規26名・更新25名予定に対して、新規22名・更新者28名の計50名(一般13名、会員37名)をDMマーケティングプロフェッショナルとして認証。

### 5. 第30回DM制作教室の開催

DM制作の技術と知識を身に着けた人材を育成、DMの品質向上を促進するべく、制作系のカリキュラムを中心とした第30回DM制作教室開催した。

**【実施】**9月29日、30日(木、金)／日本印刷会館(中央区・新富)

**【結果】**目標の30名予定に対して、44名(一般21名、会員23名)の受講。全員をDMアドバイザーとして認証した。

### 6. 九州エリアでのDM成功事例セミナー開催

九州エリアでの開催要望を受け、全日本DM大賞事例と海外事例を紹介するセミナーを試行。

**【実施】**9月2日(金)／DM大賞4コマ5事例と海外事例1コマ、都久志会館会議室

**【結果】**80名(一般55名、会員25名)が参加。

## 7. 関西エリアでのDM成功事例セミナー開催

昨年に引き続き関西エリアでの試行開催、全日本DM大賞事例と海外事例を紹介するセミナー。

【実施】10月28日(金)／DM大賞4コマ5事例と海外事例1コマ、新大阪丸ビル別館会議室

【結果】62名(一般31名、会員31名)が参加。

## 8. 派遣型DM講座の実施

依頼の寄せられた企業(会員・非会員問わず)へ講師が出向くというスタイルと、要望に合わせたカリキュラムを組めるというセミオーダー型が注目を集め、本格稼働から4年目となる今年度は11本の講座を実施した。

## 9. 試験用テキスト開発

現行「DMの教科書」の改訂版として、また「研修会(セミナー)と認定試験の分離」の準備として、テキスト開発に着手。平成29年夏頃からの販売を目指し、作成中。

## 10. eラーニング

試験的に、6月23～24日に開催されたDMマーケティングエキスパート研修会の様子をカメラ2台で撮影。YouTubeにアップした画像・音を委員会で確認。今後DVDメディアやストリーミング等で提供が可能か、引き続き検討を行う。

## 11. 研修受講者のデータベース

データベース構築のため、Excelベースで管理しているデータを精査する作業を引き続き行っていく。また、エキスパート資格取得者の増加により、更新手続きの負担軽減のため、来年度更新者等に利用してもらおうオンラインテスト環境を構築する。

## 12. 米国DMA年次大会 視察旅行

ダイレクトマーケティングの最新事例を学ぶためDMAの年次大会参加も含んだ視察研修を企画し、10月15～20日実施。視察報告は12月の「DM REPORT」に掲載した。

## **ロジスティクス委員会**

### 1. DM情報ガイド 2014年4月版の発行・販売

好評販売中であった「DM情報ガイド2014年4月版」は、平成28年6月1日から内国郵便の料金割引が変更になったことを受け、同書籍に掲載中の郵便料金の情報が古い内容となることから、積極的な販売は中止。購入希望者には電話にて状況を説明し、納得いただいた場合に限り販売してきた結果、28年度は3月末時点で10冊販売。残り在庫の1,316冊は、発行から3年を経過したことから出版物在庫処分規程に則り、見本として5部を保管。1,311冊は理事会承認を経て溶解処理を行った。

### 2. 物流センターなど、配送の現場見学会の開催

(株)リコーの協力をいただき、3月1日(水)に実施。東京・大田区に昨秋オープンしたカスタマーエクスペリエンスセンターにて、省人化／自動化された先進的な印刷プロセスを体感、実態を学んだ。委員社含む会員6社15名が参加。好評のまま無事終了した。

## **研究開発委員会**

### 1. DMメディア実態調査2015

平成24年度以降継続して平成28年度も消費者パネル調査を12月に実施。結果速報は2月の全会員連絡文書に同封、報告した。

調査報告書はDMの現況を広く知らせ、利用を促進する意味からも、そのダイジェスト版は協会ホームページを通し非会員へも広く公表。詳細版は、会員社へは従来通り協会ホームページ・会員専用ページにて会員限定で公開することとし、更に、今回分から新たな試みとして、非会員へ協会ホームページ経由で販売を始め、3件の購入につながった。

## **データベースマーケティング委員会**

### 1. 第1回データビジネスセミナーの開催

第1回セミナー 11月16日(金) トップラン・フォーラムセミナールーム

テーマ: パーソナルマーケティングの最新事例

講演: ①「共通ポイント「Ponta」がご提案する地に足が着いたDMソリューション」(株)ロイヤリティ マーケティング

②「お客様のオムニチャネル構想の実現に向けた顧客コミュニケーション事例のご紹介

～データと紙の融合による『ワクワク感』の演出～」リコージャパン(株)

③「DMA & then に見る最新パーソナライズコミュニケーションの潮流」フュージョン(株)

今回は会員社および会員招待(非会員・無料)の参加だけで定員の20名となったので有償の非会員社から有償の参加者はなかったが、会員招待を、「協会メルマガ配信リスト」へ追加登録する流れに寄与できた。

## **その他**

### 1. DMホットライン

消費者や一般の企業、全国各地の消費生活センター・消費生活相談員から寄せられる「DMに関する苦情」や「相談」等に対応した。なお、平成28年度の相談件数は電話21件。メール2件。対前年比38.7%と激減。

(27年度は62件、26年度は61件、25年度は66件、24年度は44件、23年度は52件)

### 2. 受託業務の受付

①DM FACT BOOKの制作

DMメディア実態調査データ、全日本DM大賞受賞事例をもとにした営業ツールを受託業務として作成した。